

# 実践サイバー演習「RPCI」(リプシィ)

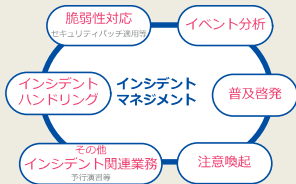
～リアリティを追求した、実践的なインシデント対応力を高める情報処理安全確保支援士向け実践講習～

## 概要

国家資格「情報処理安全確保支援士(登録セキスベ)」の実践講習として、2021年度からNICTにて実施。「CYDER」で培った、サイバー演習のノウハウを活かし、技術に寄った講習を希望する受講者のニーズに応えます。

### RPCI 4つの特徴

#### 専門性の高い実践講習



RPCIは登録セキスベ資格更新時の必須要件の一つである特定講習です。インシデント対応の専門家としてのキャリアを目指す方におすすめです。

#### チームで取り組む実践的な演習プログラム



オンラインでの事前学習に加え、集合演習では実務に活かせるツールを使った解析等実践的な演習としています。

#### インシデント対応の擬似体験が可能



組織のシステムを忠実に再現した大規模環境で、実際の機器やソフトウェアを操作し、インシデントの検知から報告・事後対応までインシデントハンドリングの一連の流れが学べます。

#### 経験豊富な講師・チューターが演習をサポート



集合演習では、講師に加え複数名のチューターが演習やツールの操作等をサポートし、より深い理解を促進します。

## 特徴

- 公的機関唯一の情報処理安全確保支援士向け実践講習
- 演習環境で擬似的に発生させたサイバー攻撃にチームで対処。より技術と実践に特化した内容
- 経験豊富な講師・チューターが課題の進行をサポート

## ユースケース

- インシデント発生時の対応の流れを擬似体験することで、いざという時に即座に行動できるようになる
- CSIRTメンバー、上司、ベンダー等と適切に情報共有し主体的なインシデント対応ができるようになる
- 実務に活かせるツールを使った解析など、実践的な内容が学べる

## 今後の展開

- 2025年度よりシナリオを一新
- 東京のほか大阪でも受講可能に
- 年2回の更新時期に合わせ、6～7月に3回、11～1月に4回の演習を開催

### 2026年度 実践サイバー演習 RPCI(リプシィ)の実施概要

- ① 対象者 : 情報処理安全確保支援士等(※)
- ② 講習形態 : 事前学習(オンライン形式)と集合演習(会場でのハンズオン&グループワーク)
- ③ 開催日程 : 6/25(木)、7/11(土)・24(金)、11/27(金)、12/11(金)、1/15(金)・22(金)
- ④ 開催地 : NICT イノベーションセンター(東京都中央区日本橋)、大阪市内(2027/1/15実施回のみ)
- ⑤ 受講期間 : 事前学習 2時間程度～ + 集合演習 1日間(10:00～18:00)
- ⑥ 定員 : 36名/回
- ⑦ 受講費用 : 88,000円(税込)

※情報処理安全確保支援士ではない方もご受講可能です。

#### 【お問合せ先】

サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバートレーニングセンター サイバートレーニング研究室/事業推進室  
Mail : [rpci@ml.nict.go.jp](mailto:rpci@ml.nict.go.jp)

